

2010年

高校生が知っている世界の有名な書物展

本学図書館が本学のオープン・キャンパスの開催日に行っている貴重書展示会「2010年 高校生が知っている世界の有名な書物展」を、6月20日（日）と8月6日（金）から8月8日（日）までの3日間と9月11日（土）に開催しました。

今年度から図書館の学生アルバイトの皆さんがライブラリー・ツアーの引率・解説を実施していますが、年齢が近くて親しみやすいことと、説明が丁寧で分かりやすいことから好評を博しています。図書館アルバイト学生からは次のような意見が寄せられています。

目録と栞



◆高校生との積極的な交流

相川 瑞穂

図書館の案内役ということで最初は緊張していましたが、高校生と言葉を交わすと、私以上に緊張している気持ちが伝わってきました。彼らにとっては、進路を左右する大事なイベントです。図書館の案内役としてだけではなく、実際に4年間京都外国語大学で過ごしてきた経験なども話し、積極的に交流を持ちました。

残念ながら、私は4年次生なので来年度の新生入生にお会いすることはできないと思いますが、オープン・キャンパスで案内した高校生が後輩として入学してくることを楽しみにしています。

あいかわ みずほ（中国語学科4年次生）



◆図書館の魅力を伝えたい！

瀬尾 まなほ

「図書館の魅力を伝えたい!」、今回のオープン・キャンパスで一番に私が重視したことです。図書館のツアーガイドをすることは、私にとって初めての経験でした。今回はその他に、展示された様々な貴重書の説明もしなければならなかったので大変でした。しかし、参加された方々が真剣に私の話に耳を傾け、貴重書についても興味を持っていただけだったのでやり甲斐を感じました。

ただ図書館についての説明をするのではなく、参加された高校生の方々からの質問を受けたり雑談したりすることもできたのでアットホームな雰囲気を作れたと思います。

せお まなほ（英米語学科4年次生）

